



陸上競技・リオオリンピック日本代表

桐生 祥秀さん

リオデジャネイロオリンピックでの力強い走りに、テレビの前で声援を送った人も多いはず。「ジェット桐生」の異名を持つ陸上短距離のホープ桐生祥秀さんに、滋賀での思い出や、今後の意気込みについて語っていただきました。

外で走り回った楽しさが原点

昔から体を動かすのが大好きで、サッカーや野球、鬼ごっこなど、遊びはいつも外。中学から始めた陸上も、最初は友達とワイワイ楽しみながら走っていました。でも次第に「本気で陸上をやってみよう」という思いが高まり、陸上の名門・私立洛南高等学校に進みました。

滋賀を離れてみて思うのは、「滋

この夏のリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは、滋賀県ゆかりの選手が大活躍され、桐生祥秀さん、乾友紀子さん、木村敬一さんがメダルを獲得されました。その功績をたたえ、滋賀県民スポーツ大賞(栄誉賞)が贈られました。今回のさざなみVOICEは、リオスペシャルとして、桐生祥秀さんと木村敬一さんにお話を伺いました。

賀は楽だなあ」ということ。どこに行ってもものんびりしていて心が休まります。地元に戻った時は友達を呼び出して、彦根市にある荒神山で坂ダッシュ。めっちゃいい気分転換になります。あと食べ物がおいしい。特に近江牛は最高です。野菜も：と言いたいです。が、実は生野菜が苦手で、冬場は鍋料理ばかり(笑)。でも小中学生の皆さんには何でも食べて、外でいっぱい遊んでほしいですね。

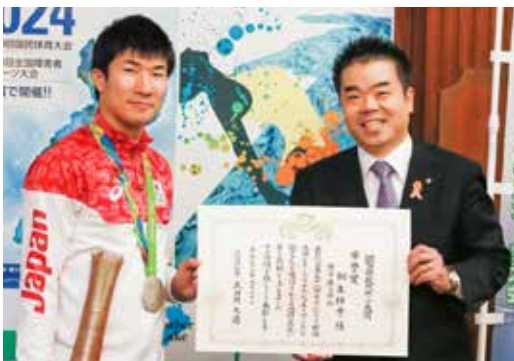
陸上の面白さを生で体感して

試合前は毎回「ここでこう走ろう」と考えています。集中力を高めてレースをイメージして、本番に挑んでいます。リオでの100mで記録が伸びなかったのは残念でしたが、貴重な経験になりました。あの舞台で学んだことを次へつなげ、進化していきたいです。新しい目標は、自分の「走り」を確立すること。2020年は東京オリンピック、そして、2024年には滋賀で国体が開かれます。県民の皆さんにも競技場で本物のレースを見てもらいたい。僕らの走りで、滋賀が盛り上げられればいいですね。

ここ一番の集中力が僕の持ち味 自分の「走り」で滋賀を盛り上げたい



写真：日刊スポーツ/アフロ



1995年彦根市出身。中学から陸上を始め、私立洛南高等学校に進学。3年生時、日本ジュニア新・日本高校新となる10秒01を記録し、脚光を浴びる。この8月のリオオリンピックでは100m、400mリレーに出場。リレーでは第三走を務め、日本史上初の銀メダルを獲得した。県民スポーツ大賞[栄誉賞]受賞。彦根市民栄誉賞受賞。



RIO 2016 BRONZE

シンクロ チーム

RIO 2016 BRONZE

シンクロ デュエット

乾 友紀子さん

シンクロ・リオオリンピック日本代表

写真：Enrico Calderoni/アフロスポーツ

1990年近江八幡市出身。日本シンクロチームのキャプテンとしてチームを牽引し、見事にデュエットとチームで銅メダルを獲得。県民スポーツ大賞[栄誉賞]、近江八幡市民栄誉賞受賞予定。



1990年栗東市出身。
2歳のとき視力を失う。10歳から水泳を始め、頭角を現す。日本大学に進学し、大学4年時のロンドンパラリンピックでは2つのメダルを獲得。その後元200m自由形日本記録保持者でもある日本大学文理学部の野口智博教授に師事。週に10回の厳しいトレーニングを積んで臨んだリオデジャネイロパラリンピックで、50m自由形、100mバタフライで銀メダル、100m平泳ぎ、100m自由形で銅メダルと4つのメダルに輝いた。県民スポーツ大賞[栄誉賞]受賞。栗東市民栄誉賞受賞。しがスポーツ大使。



競泳・リオパラリンピック日本代表

木村 敬一さん

2008年の北京、
2012年のロンドン、
そして、今年のリオデジャネイロと
3度のパラリンピックに出場し、
複数のメダルを獲得。
圧倒的な強さを誇る
競泳選手・木村敬一さんに
水泳との出会いや
障害者スポーツへの想いについて
語っていただきました。

母の勧めた水泳が 人生を変えた

水泳との出会いは小学4年生のとき。2歳で視力を失った僕の体づくりのため、母が県立盲学校の近くのスイミングスクールに通わせてくれたんです。最初は怖くて戸惑いましたが、もともと運動好きだったこともあり、水中の開放感が心地よく、泳ぐのが楽しくなりました。小学校を卒業と同時に上京し、筑波大学附属盲学校中学部で、本格的に水泳の指導を受けるようになり、以来水泳に打ち込む毎日です。

リオでの一番の感想は：疲れました(笑)。でもあの場に立つということは言葉では言い表せない素晴らしい体験でした。これから自

分のやりたいことをゆつくり考え、次につなげたいです。

障害者スポーツの魅力が 広めたい

出身地ということで、滋賀の皆さんにも本当にたくさん応援していただき、ありがとうございました。これを機に障害者スポーツの面白さや楽しさに注目していただきたいなと思います。

僕にとつてパラリンピックは子どもの頃からの大きな夢でした。大きいものに立ち向かうのは辛いことも多いけど、必ず得るものがあります。これからの子どもたちには本気で取り組めることを見つけてほしい。僕の泳ぐ姿でそれが伝わればうれしいです。

写真：アフロススポーツ

滋賀で知った泳ぐ楽しさ たくさんの応援が支えに



もくじ Contents

- さざなみVOICE 桐生 祥秀さん(陸上競技・リオオリンピック日本代表) 2
- 木村 敬一さん(競泳・リオパラリンピック日本代表) 3
- ふれあいプラスワン
- 誰の命も等しく尊いものであり輝いている ～共生社会の実現に向けて～ 4-5
- STOP! 子ども虐待 大切な未来をみんなで守る 6-7
- 特集 2025年に向けて 医療福祉のこれから 8-9
- 情報ひろば 10-12
- コラム「みんなでプラスワン」・ほっとサロン 13
- うおーたんのココクルの魅力調べ 14
- 水辺の景観(近江八幡市) 15

【滋賀県の人口と世帯数】

平成28年9月1日現在(前月比)

- 人口総数/1,415,179人(375)
- 〈外国人人口/20,815人(204)〉
- 男性/698,677人(200)
- 女性/716,502人(175)
- 世帯数/560,796世帯(267)